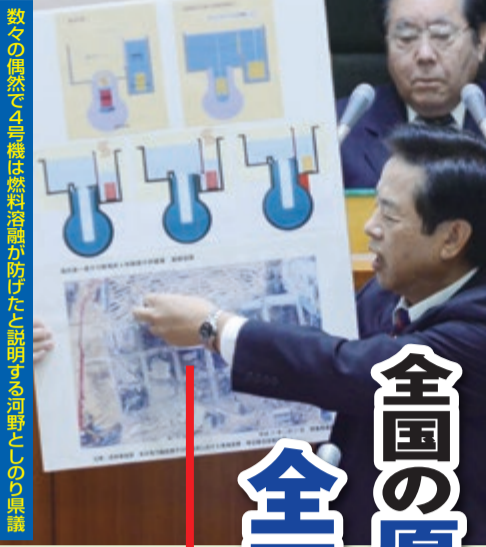


原発賛否の前に今すぐやるべき事が有る!と県議会で訴える河野としのり県議



全国の原発に放置されている使用済み核燃料棒の処理を 全国知事会で国に要求せよ!!

河野としのり県議

11月18日、福島第一原発の四号機の使用済み核燃料プールから核燃料の年間を掛けたり取り出しがやっと始まりました。四号機には、核の燃えカスである使用済み核燃料棒が、水深九メートルの使用済み核燃料プールに置かれています。この使用済み核燃料棒が、水中から出れば数十秒で人を死に至らしめる放射線を発し、大量の放射性物質を大気に放ちます。四号機プールに有る放射性物質の量は、数百キロにわたって広大な国土を死の土地にしたチェルノブイリ原発事故の10倍に当たります。3・11の原発事故で全電源がストップし、四号機使用済み核燃料プールが蒸発しはじめ冷却が行われていない事が判明した時、当時の政府が覚悟した事は、原発から半径170kmに避難指示、半径250kmに避難勧告で、三千万人から四千万人もの人々に強制的な移動を促す事でした。突然の放送で、自宅を捨て、着のみ着のまま逃げ出さねばならないのは東京都、神奈川県、千葉県も含まれます。資料の地図に円の図はNHKの原発事故の特別番組で放映された画像とほぼ同じ図で、避難勧告の地域を表します。勿論こうなると日本の終わりで。

幸い、電源喪失で冷却機能が失われ、プールの蒸発が始まり水位が低下し始めた時、定期点検の遅れで震災当時偶然に隣の原子炉ウエルに水が張られており、そこからプールに水が大量に流れ込み燃料棒が冷やされ、更に、四号機の原子炉建屋に三号機から空調ダクトを通して流入した水素の爆発が起こり建屋天井の壁が吹っ飛び、それ故天井の上からレッカー車を使った消防ホースで使用済み核燃料プールに向けて放水出来る様になったり、数々の不思議な偶然が重なって、プールの冷却が出来、事無きを済ました。

しかし、原子炉建屋四階にある四号機の使用済み核燃料プールを支える壁や柱は、3・15の水素爆発により壁には穴が開き、壁の面も崩れ外側に膨らむように曲がり、柱は、周りのコンクリートは吹っ飛び剥き出しの骨組みだけが残っている状態です。三十数年も放射能を浴び続けたコンクリートの強度は低下し、更に海水による冷却を行った事でコンクリートの鉄筋も腐食し益々強度が下がっています。もし又大地震が起こり建屋四階にあるプールが傾いたり、地上に落下し引っくり返ったら、その時は、水は干上がりプールが瓦礫で覆われ、使用済み核燃料は、一気に数千度と言われる崩壊熱を出して燃料棒を溶かして行き、膨大な放射性物質が大気に放出します。そうなる水掛ければ燃料棒のジルコニウム被覆管が水の酸素を吸収し酸化し、水素を猛烈に発生し、又水素爆発となり、手が付けられなくなります。やがて、福島第一原発から入は去って、冷却を失った原発内の全核燃料棒は次々と発火して燃料が溶融し、そうなる



4号機は大地震に耐え得るのか

また、次に地域防災計画には、事故発生時に「市町村は、適切な避難誘導が図れるよう、避難誘導体制の整備に努めるものとする」とあるが、市町村の地域防災計画には放射性物質事故の避難誘導体制が明記されているのか、また県としてはどのように指導しているのか、

上の棒グラフ(部分)から判るように各原発の使用済み核燃料プールの空きが残りわずか!!

例え困難でも一刻も早く再処理工場の稼働、中間貯蔵の規模の拡大、夢のリサイクル、それらにはつきりと結論を付け、核のゴミの処分道筋を付け進まねば、様々な巨大地震が予想されるこの時期、もし地震で、水の冷却が止まればあつという間に核燃料は燃え人が住めない広大な土地が広がります。先日、米原子力規制委員会の前委員長のグレゴリーさんが原発の近くの浪江の街を調査に来られ、それがNHKに報道されました。私も福島第一原発に5年間通い続けそして1年間住んだ浪江の街で、

森田県知事

使用済み核燃料や最終処分場の問題については、我が国の原子力政策の根幹に係る事柄であり、長期的な安全性や安定性などを十分考慮し、地域住民への説明責任を果たしながら、国が責任を持って取り組むべきと考えます。県としても、その安全性の確保は、何よりも優先すべき事項との考えで、全国知事会などを通じて、国が責任ある取組を早急に行うよう強く要望します。

河野としのり県議の質問に答えて

「使用済み核燃料の問題を全国知事会から訴える」と答弁する森田県知事

今県内の市町村では、地域防災計画の見直しを行っています。放射性物質事故の避難誘導体制については、38の市町村で地域防災計画に明記されており、残りの市町村についても、見直し作業を実施しているところです。県では、市町村に対し、放射性物質事故の避難誘導体制の明記など、働きかけてまいります。

この河野としのりプロフィール

- 昭和48年 早稲田大学理工学部卒
- 50年 早稲田大学大学院修士課程修了
- 同 年 東洋エンジニアリング株式会社入社
- 平成7年 千葉県議会議員初当選
- 16年 千葉県監査委員
- 17年 防災対策委員
- 20年 党県連幹事長
- 23年 千葉県議会議員5期当選
- 現 在 党県議会の議員会長

河野としのり 検索

議会での質疑応答は、インターネットで下記のアドレスを開けばビデオを見ることが出来ます。
http://www.chiba-pref.stream.jfit.co.jp/giin_result.php?GIINID=549